

第23回

竹間沢車人形公演

ちくま

ま

さわ

くるま

にん

ぎょう

百五十年以上前から三芳町に伝わる「竹間沢車人形」。
日本に、三芳町を含め三地域のみにしか現存していない、貴重な伝統芸能です。

2026年 **12月6日** 日 開演13:30
(開場13:00)

コピスみよし(三芳町文化会館)ホール

演目 かぐやひめ/壺坂霊験記/寿式三番叟/車人形教室

出演 竹間沢車人形保存会/公募の小中学生/三代目若松若太夫(説経節)/星野高等学校放送部(司会)



小中学生が演じる
「かぐやひめ」も
お楽しみください!

全席自由席 [一般] 1,500円 [小中高生] 500円

※障がい者手帳割引、団体割引(10名以上)があります。詳細はお問い合わせください。

発売日 9月12日①10:00～

プレイガイド コピスみよし(三芳町文化会館)・・・049-259-3211 コピスみよしオンラインチケットサービス

※未就学児はご入場いただけません。※車いす席・親子室・聴覚支援システムのご用意がございます。詳細はお問い合わせください。

※写真撮影・ビデオ録画、録音は固くお断りします。

※ご予約後のキャンセル、チケット代金の払い戻しは承れません(公演中止の場合を除く)。

※10月1日より、以下でもご購入いただけます。

■三芳町歴史民俗資料館・・・049-258-6655

■三芳町立中央図書館・・・049-258-6464

お問合せ コピスみよし(三芳町文化会館) ☎049-259-3211



撮影:千代田路子

竹間沢車人形企画展:2026年11月1日①から公演日まで展示コーナーにて(予定)。詳細はコピスみよしSNSをご覧ください。

Traditional Performing Art of Miyoshimachi The 23rd Chikumazawa Kuruma Ningyo Puppetry
Sun.6 Dec.2026 START 13:30 OPEN 13:00

Admission: [Adult] 1,500yen [student] 500yen *Preschool children not allowed to enter

Contact us: Coppice Miyoshi (Miyoshimachi Cultural Center) +81 (0) 49 259 3211

Kuruma Ningyo is a form of puppet theatre. The puppeteer sits on a small seat with roller wheels (rokuro kuruma) and operates the puppets (ningyo).
This kind of art is inherited in only in 3 areas in Japan, including Miyoshimachi.

主催:埼玉県 埼玉県教育委員会 三芳町 三芳町教育委員会 コピスみよし(三芳町文化会館) 埼玉県芸術文化祭実行委員会 埼玉県芸術文化祭三芳町実行委員会
企画制作:トールツリー(株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

イベントのPRやアーティストバンク、ホール案内などの芸術文化の情報が満載! 三芳町芸術文化ポータルサイト「MAPS」 三芳町 芸術 検索



第22回公演より 撮影：齊藤美春

ろくろ車に乗って命を吹き込む—— 三芳町が誇る、人形芝居

「車人形」は、ろくろ車と呼ばれる車輪付きの台に演者がまたがり、一人で大型の人形を操る、全国でも珍しい伝統芸能です。現在は、三芳町をはじめ、3地域にのみ受け継がれています。

本公演では、誰もが知る昔話「かぐやひめ」と、夫婦の深い愛情を描いた名作「壺坂霊験記」を上演します。

世代を超えて受け継がれてきた、竹間沢車人形の世界を、ぜひお楽しみください。



竹間沢車人形復活50周年のキセキ

3年前に行われた50周年記念公演の、稽古から本番までの様子に密着取材した映像をご覧ください。

寿式三番叟

ことぶきしきさんば そう
寿式三番叟は、舞台を清める舞で、その日の舞台を無事に務めあげられますようにと願いを込めて、舞台の幕開けに舞います。

かぐやひめ

『竹取物語』は、日本最古の物語とされ、竹から生まれたかぐや姫が成長し、多くの求婚者を退け、最後に月へ帰っていく物語です。人と異界の別れを描き、今も広く親しまれています。今回は、三芳町の小中学生を公募し、人形遣い、語りも演じます。こども達が一生懸命練習した成果もお楽しみください。

壺坂霊験記

つばさか れいげんき
夫婦の深い情愛を描いた名作。盲目の沢市は、貧しさの中でも妻・お里に支えられながら壺坂観音へ日々祈りを捧げていた。しかし沢市は「自分のせいでお里が苦勞している」と思い込み、ついに壺坂の谷へ身を投げてしまう。後を追ったお里も谷へ——。夫婦の絆と観音の霊験が胸を打つ物語。車人形保存会が情感豊かに演じます。

車人形教室

車人形の構造や操り方をわかりやすく解説します。実際に車人形に触れ、動きのしくみを体験できます。

総指揮 前田益夫

演出・舞台監督 丸山昌彦

出演



竹間沢車人形保存会

竹間沢車人形は、竹間沢村の神楽師前田左近が江戸の末期から明治にかけて、吉田三芳の芸名で「吉田三芳一座」として、小さな人形を使った人形芝居から車人形に切り替え、自ら車人形の頭や道具を作り、盛んに興行をおこなった人形芝居です。大正時代になり、浪曲、映画などに押され一度は途絶えるも、埼玉県教育委員会が実施した、人形芝居用具緊急調査がきっかけとなり、昭和四十六年に再び脚光を浴びる事となりました。前田家の納戸から車人形が発見され、昭和四十七年、五十年ぶりに復活公演が実現しました。それから半世紀にわたり、保存会は竹間沢車人形を守り継いでいます。

公募の小中学生

地域の子どもたちが、車人形の上演に取り組んでいます。初めての挑戦ながら、丁寧に練習を重ねてきました。温かい応援をお願いします。



説経師 三代目 若松若太夫

文芸学科非常勤講師。一九八九年、二代目若松若太夫の公演を聴き、感動を受け入門。一九九八年、三代目若松若太夫を襲名。二〇〇〇年、東京都指定無形文化財(芸能)保持者、板橋区登録無形文化財(説経浄瑠璃)保持者にそれぞれ認定される。

司会 星野高等学校放送部

昨年より、この車人形公演のサポートを、司会という形で携わっていただいています。高校生放送部の素晴らしさを感じていただけましたら幸いです。

会場へのアクセス

- ・最寄り駅：東武東上線「鶴瀬」または「みずほ台」駅（「池袋」駅から約30分）
その後、バスかタクシーで10～15分、徒歩約45分
- ・バス：【開演前】「鶴瀬」または「みずほ台」駅からライブバスが運行しています。駅より約10分「三芳役場」下車。
片道220円、現金のみ、交通系ICカード使用不可。
【時刻例】鶴瀬駅西口発 ⑤12:40 ⑧12:55 ④13:00 ※丸数字は路線番号
【終演後】鶴瀬駅西口行のシャトルバスを運行予定(無料)
- ・車：関越自動車道「所沢J.C.」より約15分、無料駐車場あり(250台)



竹間沢車人形
LINEスタンプ販売中!
全40種類



お問い合わせ コピスみよし(三芳町文化会館) 049-259-3211 (9:00～21:30)

埼玉県入間郡三芳町藤久保1100-1 休館日：月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)